

北海道の食土に 関する研究

帯広畜産大学

○筒木 潔 堤 さやか 北野 睦子

はじめに

- 土食 geophagy
「土壌を食べる習慣」のこと
世界中で広く見られる
哺乳類、鳥類、爬虫類、蝶
人間も例外ではない
(YANAI et al., 2009)



なぜ土壌を食べるのか？

- 植物毒の吸着
- 無機養分の補給
- 胃腸の調子を整える、下痢を防ぐ など (Brightsmith et al., 200)

明確な理由はわかっていない


北海道でもかつてアイヌ民族が
利用していたようだ

北海道と食土のかかわり

- アイヌ民族の植物利用
クロユリ(*Fritillaria camtschatcensis*)
ハナウド(*Heracleum mollendorffii*)
- 北海道の地名・・・アイヌ語由来のものが多い
「食土」を意味する地名が数多く残っている

例：チエトイ

chi・e・toy 我ら・食べる・土



食土の特徴

- 珩藻土もしくは粘土質
- 吸湿性に富む
- 白色、青白色



目的

- 食土地名が残る地点で採集した土壌を用いて、その基本的物理・化学性を明らかにする
- さらに食土の採集地点を増やし、食土産出地の共通的特徴を明らかにする。

土壤試料

■ 幕別町字軍岡



土壤試料

■ 浦幌町朝日



土壤試料

■ 新ひだか町布辻川



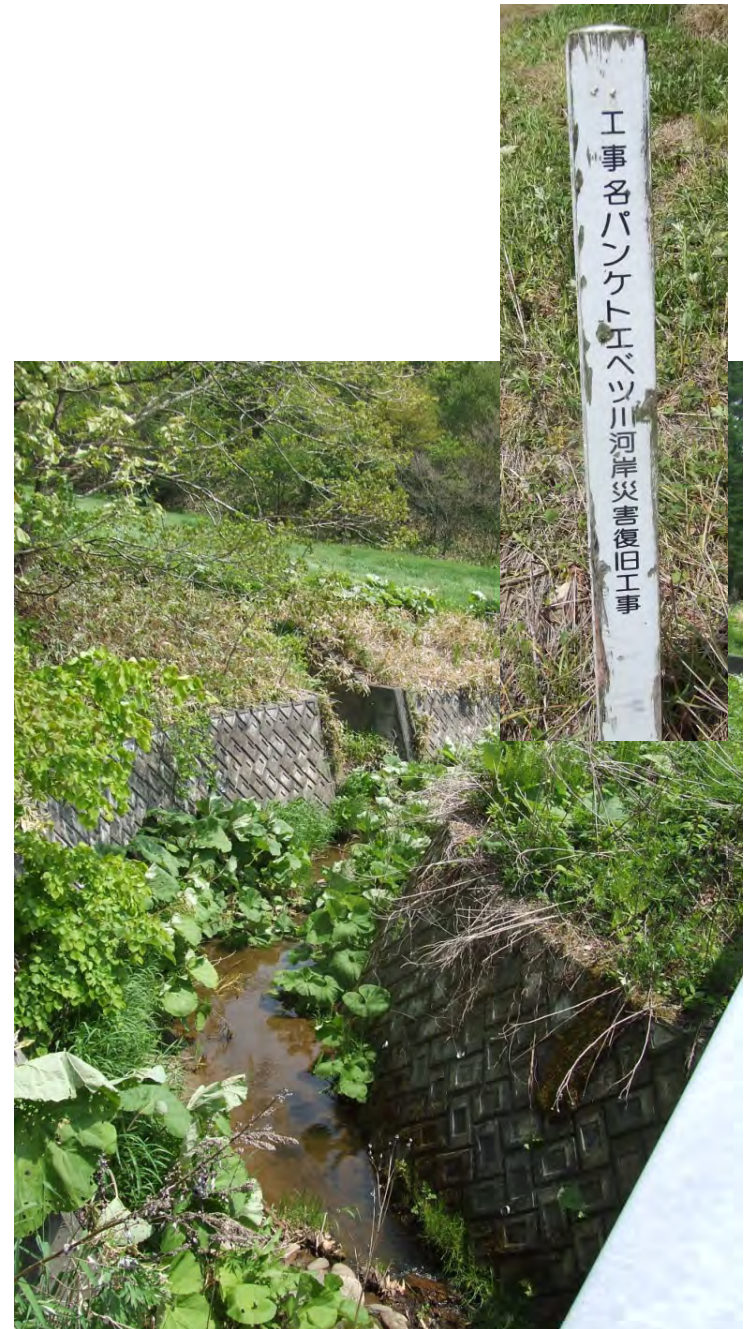
土壤試料

■ 新ひだか町春別川



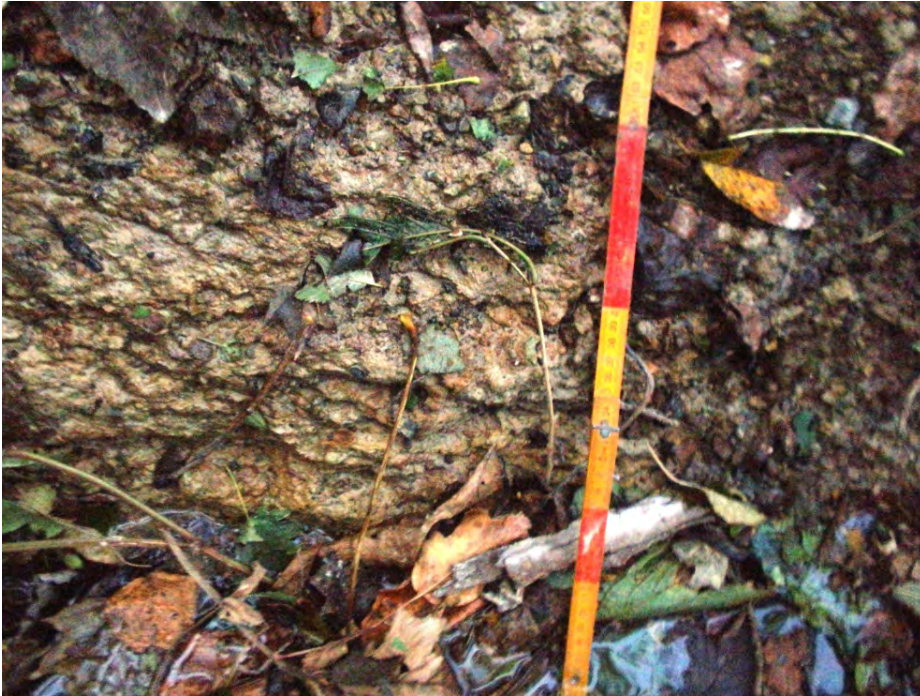
土壌試料

■ 新ひだか町トイベツ川



土壤試料

■ 佐呂間町幌岩



方法

- 粒径組成分析
- 粘土画分のX線回折

軍岡、朝日、春別川
およびトイベツ川

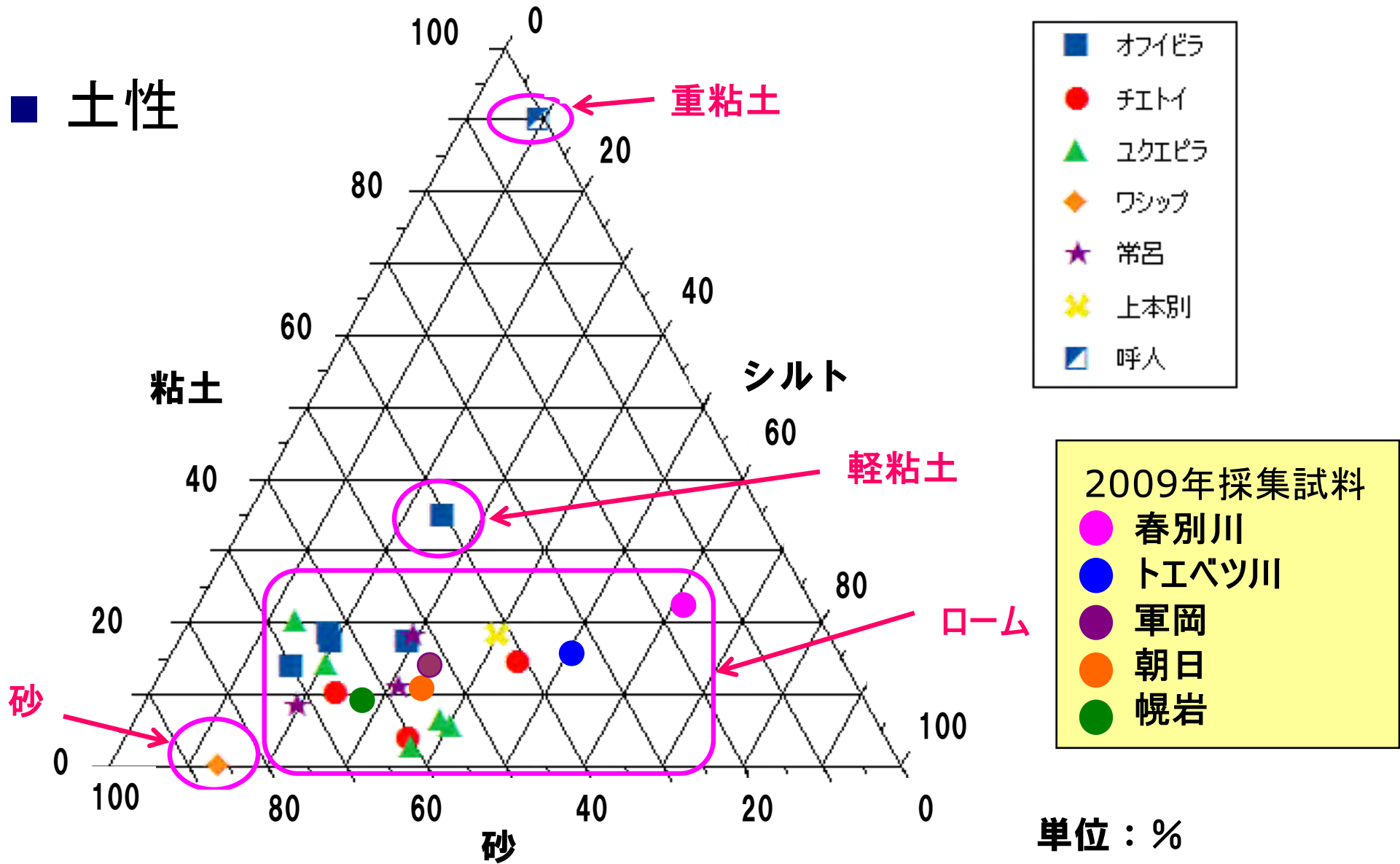
- pHの分析
- 顕微鏡観察

- リン酸吸収係数
- 陽イオン交換容量
- 塩基飽和度
- 微量元素

軍岡、朝日、布辻川、
春別川およびトイベツ川

結果

■ 土性



結果

■ X線回折・・・軍岡

軍岡、朝日、トイベツ川、幌岩
・・・9.0~10.0Åに緩やかなピーク

